

地域農業開発特論 (2単位)

担当者氏名 三簾久夫

◆学習・教育目標

地域農業開発の目的はそこに住む農民が飢餓、貧困から脱却し、安定的な生活を実現することである。それには農民の生活の基本となる農業生産の向上、貨幣経済への円滑な移行などが必要となる。本講義では、それぞれの地域特性を踏まえて資源循環型の農業生産による所得向上と地域レベルでの食料自給について農業経営学の視点から論じる。具体的には、農業経営の構造、農家調査と経営分析手法を解説し、地域農業の発展と農家の経営成長との関連性およびメカニズムについて明らかにする。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

地域農業	農家	農家調査	家計
経営構造	経営分析	資源循環	食料自給

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	ガイダンス	講義の進め方など	
2	地域農業開発学とは何か(1)	地域農業と個別経営	地域農業はそこに居住する農家・農民によって構成される。したがって、地域農業の分析にはそれら農家の実態を把握することが必要である。講義のねらいは、①途上国における農業経営構造の理解、②農家調査と経営分析手法の取得、③地域農業の発展と農家の経営発展との関連性とメカニズムの解明、である。
3	" (2)	農家の経営と家計	
4	" (3)	経営形態の概念・分類	
5	農業経営の構造 (1)	自給的経営の構造	
6	" (2)	半自給的経営の構造	
7	" (3)	商業的経営の構造	
8	" (4)	農業経営の成長	
9	農家調査と経営分析 (1)	農家調査の手法	
10	" (2)	農家調査票の構成	
11	" (3)	経営分析の手法	
12	" (4)	分析結果の利活用	
13	地域農業の発展 (1)	農家の連携と資源循環	
14	" (2)	地域レベルでの食料自給	
15	まとめと評価		

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

熱帯農業と国際協力/農大出版会 (2006)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

講義中の意見発表 (40%)、レポート (40%)、出席状況 (20%)

◆その他受講上の注意事項